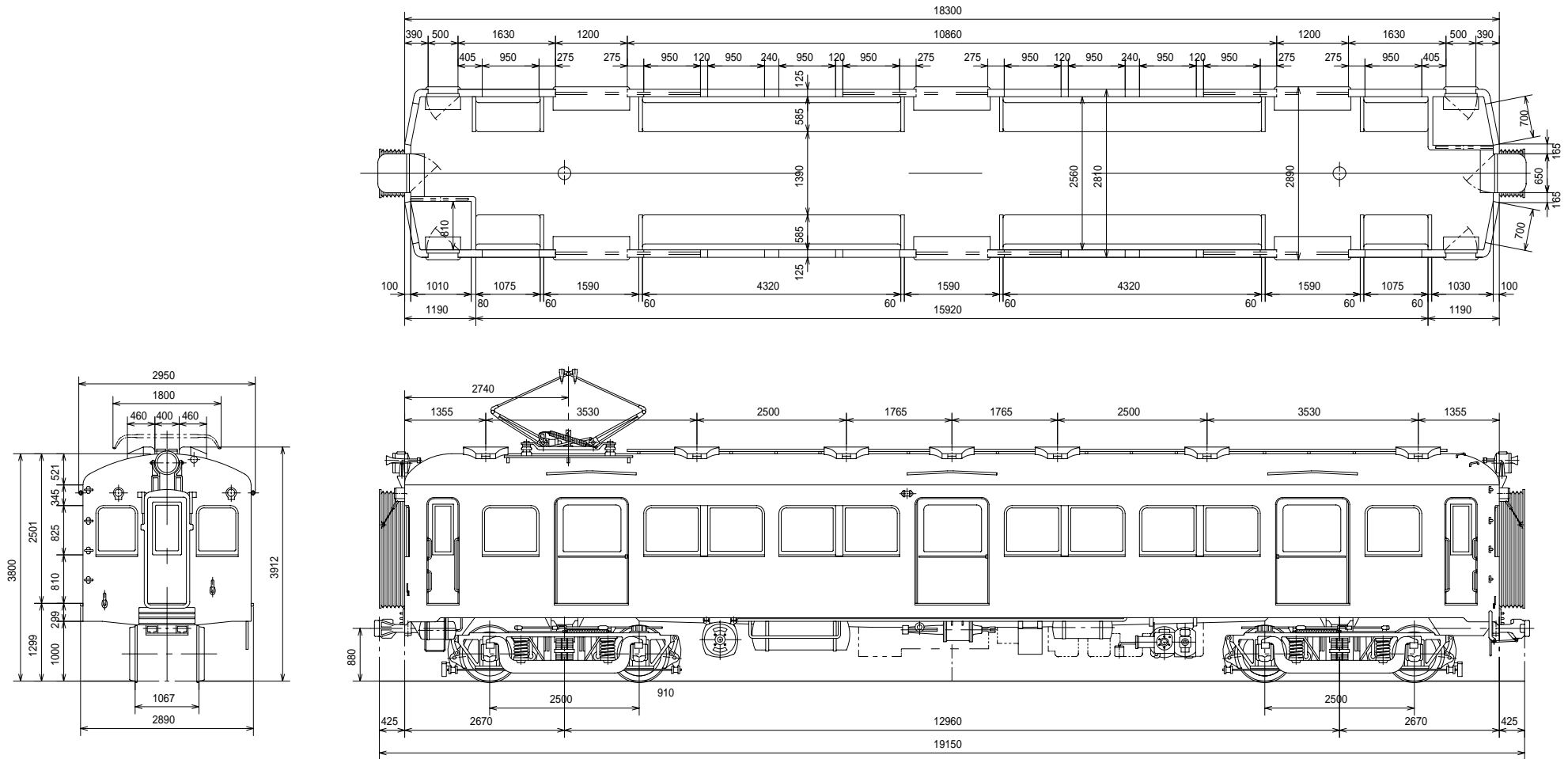


阪和電鉄(南海山手線) モタ3000形 形式図



1941年～43年、阪和電鉄が南海山手線となっていた頃、製造された車両
 当時としては非常に洗練された好ましいスタイルをしている
 モタ3000とクタ7000の2形式があったが、モタの中には電装されないままの車輛もあり、やがて国鉄に買収され、
 改造を受けながらもクモハ20、クハ25の一員として活躍を続けている
 図は最初にできた張り上げ屋根グループのモタ3000で、ほぼ初期の姿を示したもの